

CASE  
39株式会社  
グリーンフィールドグラフィック

クラウド型人事労務システム

『ジンジャー』

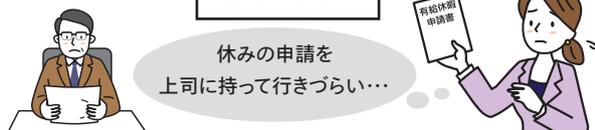


改善分野▼従業員の有休取得、立替払精算の効率化

導入の決め手▼操作性、他社システムとの連携、最新のクラウドサービス

価格▼初期費用+ジンジャー勤怠・月400円×利用者数

Before



有給休暇の申請や出勤日の振り替えを紙で運用していたため、心理的に申請しづらい



出退勤や労働時間が従業員によって異なるため、管理が大変

全部バラバラで  
処理に手間がかかる...

労働時間、休暇申請、経理の各システムの連携が取れていないため、事務処理に手間がかかる

解決したい!!

課題  
1

社員が気軽に有給休暇を取得できる環境づくり

有給休暇の申請や出勤日の振り替えを紙ベースで管理していたため、多少なりとも、遠慮も含め心理的に、休日や振替の申請のやりづらさがあった。

課題  
2出退勤や労働時間、  
有給休暇の取得状況を視覚化

裁量労働制を採用しているため、従業員の勤務形態はバラバラ。紙ベースの管理では労働時間が分かりづらく、集計に手間がかかっていた。

課題  
3

経理業務の負担軽減

出金伝票の確認や経理システムへの入力など、本職以外の仕事に時間を割かれることに。



株式会社グリーンフィールドグラフィック

〒760-0053 高松市田町14-3-2F

TEL:087-816-6950

HP: <https://www.greenfieldgrafik.com/>

2006年に創立した株式会社グリーンフィールドグラフィックは、企業やブランドのスタートアップにおけるブランディングから、事業再構築におけるリブランディングを軸に、グラフィックデザイン・ウェブサイト構築・ECサイト構築・空間デザイン・写真撮影・動画撮影・印刷・ウェブメディア etc.: アウトプットまでのクリエイティブワークをワンストップでシームレスに実現することを得意とするデザインプロダクションです。

「労働時間の短縮より、休日が多い方が社員の幸福度は高まる、という検証データがあると耳にしたことがあります。私たちの仕事はゼロからイチを生み出す仕事。社員が幸福でないとい良いアイデアも出てこないと思つています」と代表取締役の河西延彰さん。休暇を取りやすくするために、2024年4月から人事労務システム「ジンジャー」(人事労務勤怠・経理)を導入し、それまで紙ベースで行っていた有給休暇の申請や承認を、専用アプリで管理することに。「隔週で土曜勤務がありますが、プライベートも大切にしたいので、土曜の有休取得や土曜出勤の振り替えを会社として認めています。若い世代の社員は上司にお伺いを立てるこ

## After

### クラウド型人事労務システム ジンジャー

できる  
こと

- ▶ 人事労務情報を一元管理
- ▶ スマホから出退勤や有給休暇取得などを登録、承認
- ▶ 経理書類のデータ化、自動申請 など

#### 経営者 comment

社員が気兼ねなく、気軽にプライベートの予定を自由に立てられるよう、有休や振替申請を行いやすい環境の職場を目指し、人事労務管理のシステム化に踏み切りました。最新型のクラウドサービスで、裁量労働制にも柔軟に対応できる点がジンジャー導入の決め手になりました。

スマホやパソコンから  
有休や出勤日振り替えなどの  
申請、承認が簡単に



労働時間や有給休暇の  
残日数も一目で確認できる

勤務日数		
出勤日数	休日日数	有休取得日数
19	11	1
勤務時間		
勤務時間	残業時間	深夜労働時間
152.00	00.00	00.00
休暇残日数		
有休残日数	振休残日数	
20	0	



領収書読み取り(OCR)機能で  
経理業務の負担軽減



### 効果を実感!!

#### 経営者 comment

勤務状況がスマホやパソコンから確認できることで、仕事と休みのメリハリができ、作業効率が上がったと思います。給与計算や経費も自動で計算してくれるので、事務処理にかかる負担も軽減されました。



#### 効果 1

有給休暇の申請・承認が簡単かつスムーズに。  
ワークライフバランスも向上

専用アプリから簡単な操作で有給休暇を申請できることで、休暇が取りやすい環境に。仕事と休みのメリハリが付き、作業効率がアップし残業時間も減少。

#### 効果 2

出退勤情報から労働時間を自動集計、  
給与計算も簡単に

従業員の勤務形態に合わせた設定ができ、労働時間や有給の残り日数も一目で確認できるように。給与システム(JDL)と連携することで給与計算も簡単に。

#### 効果 3

領収書のデータ化でペーパーレスを実現

同時に導入した「ジンジャー経費」では、領収書をスマートフォンで撮影するだけで情報をデータ化。入金伝票が不要になり、大幅な手間の削減と、ペーパーレス化も実現。



代表取締役の河西延彰さん



ジンジャーの出退勤画面(上)と  
経理のレシート読み込み画面(下)

とが苦手なようなので、スマホ一つで申請できる機能性と、裁量労働制の勤務形態に対応している点が導入の決め手」と河西さん。使い方も簡単で、休みも取りやすくなり、社員からも「仕事と休みのメリハリができる」と好評です。管理者としても労働時間や有給休暇の残り日数が一目で分かり、勤怠管理や給与計算の業務の負担を大きく減らすことができました。また、煩雑化していた立替払いの現金精算も、「ジンジャー経費」も一緒に導入したことで領収書の読み込み機能で個人ごとの立替額が一覧で確認でき、経理手続きの簡素化につながりました。

「企業の価値を高めるためにブランディングは必要不可欠なものです。ブランディング支援にはディレクション、グラフィックなど各チームの連携が欠かせません。アイデア交換やコミュニケーション、雑談も含めた息抜きという意味でもオフィスで顔を合わせることを大切にしています」と語る河西さん。社員一人ひとりがパフォーマンスを発揮しやすい環境をつくり、会社一丸となって世の中に「経営に活用できるブランディングデザイン」の価値を広めていきたいと考えています。